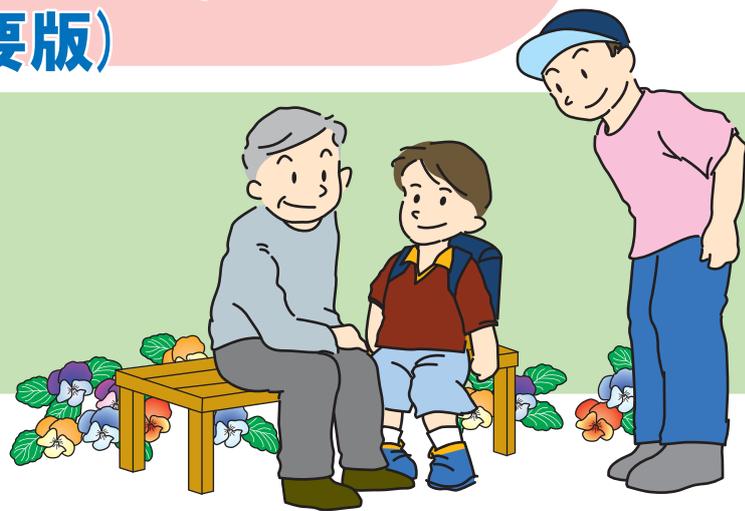
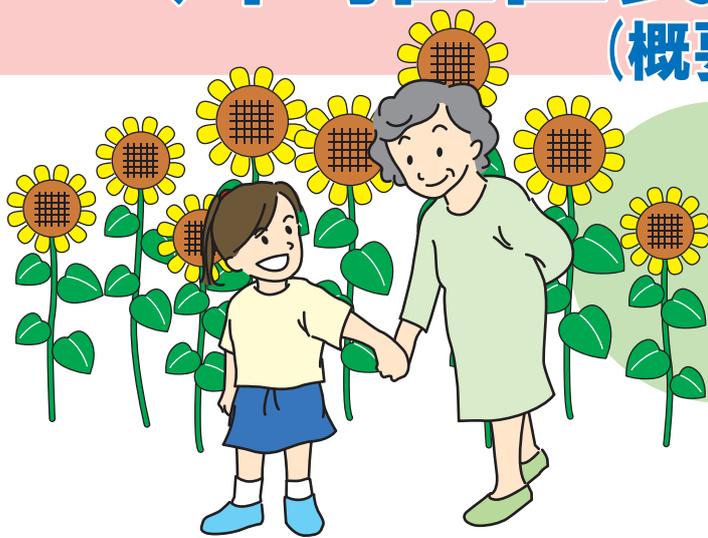


第3期

川崎区区民会議報告書

(概要版)



区民会議とは

暮らしやすい地域社会をめざして、区民のみなさんが中心となって参加と協働により地域社会の課題の解決を図るために調査審議をする会議です。

区民会議

課題の把握

地域の状況や課題について、意見交換し、整理・分析をします。

審議課題・テーマの選定

区民会議で調査審議する課題・テーマを選びます。

課題解決策の検討

解決の方向や取組の担い手など、さまざまな視点から話し合います。

審議結果

課題解決への取組

区長に報告

課題の解決に向けた取組の実践をめざし、区民会議の審議結果をまとめ、区長に報告します。

取組の実践

それぞれの役割と責任のもとで連携しながら、区民会議で提案された取組を地域で実践します。

課題の解決



第3期川崎区区民会議の経過と提言

第3期川崎区区民会議では、次のような経過で専門部会の設置、審議テーマ・審議課題の選定を行い、提言をまとめました。

区民会議委員が候補とした26の課題

26の課題を6つに分類

- 高齢化社会に関する課題
- 子育て支援に関する課題
- 環境・エコに関する課題
- 安全・安心に関する課題
- 区のイメージアップに関する課題
- 町内会のあり方に関する課題

これらの課題を効率的に検討するために、3つの専門部会を設置して審議しました。

高齢者部会

子ども部会

環境部会

部会	審議テーマ	審議課題
高齢者部会 (14回開催)	高齢者にやさしいまちづくり	「生きがい、社会貢献」 「高齢者に対する環境づくり」
子ども部会 (13回開催)	元気な子どもが育つまちづくり	「地域での子育て、子どもの居場所づくり」 「子どもの健康を考える」 「世代間交流による子育て」
環境部会 (13回開催)	みんなが住みたい川崎区	「地域緑化」 「環境意識の向上」 「区のイメージアップ」

全体会議 (6回開催)



提言

■ 高齢者が安全安心に外出できる環境整備のために

- ☆高齢者向けのウォーキングガイドブックの作成、効果的な活用を提案します (P3 参照)
- ☆コミュニティバスの導入に向けた検討の継続を提案します (P3 参照)

■ 地域全体で子育てを応援する環境づくりに向けて

- ☆地域の人と子育て中の親が出会うための世代間交流プログラムの実施を提案します (P4 参照)
- ☆こころのつながりが必要な子どもを地域全体で支えるための活動を提案します (P4 参照)
- ☆自由に思いきり遊ぶための場所づくり・人材の育成を提案します (P4 参照)
- ☆地域連携による健康出前講座の継続を提案します (P4 参照)
- ☆カローリングを活用した世代間が交流する場の拡充を提案します (P4 参照)

■ 環境意識の高まりによる地域緑化の促進に向けて

- ☆環境意識を高めるためのポスターコンクールの継続・地域での活用を提案します (P5 参照)
- ☆「区の花」「区の木」の制定・効果的な活用を提案します (P5 参照)

報告1

高齢者が安全安心に外出できる環境整備のために

■ 川崎区の現状と課題

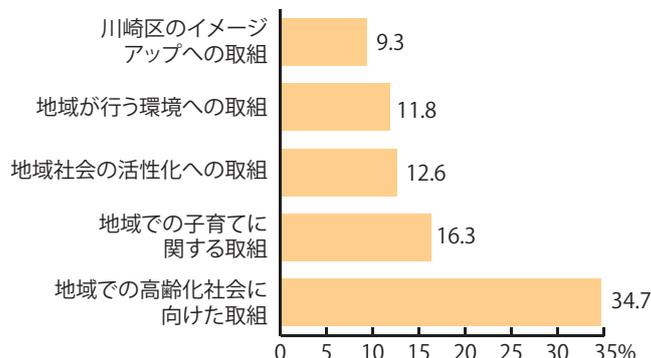
川崎区が市内で最も高齢化が進んでいる現状※や、平成21年度区民アンケートの結果などから、高齢者が住みなれた場所でいつまでも健やかに暮らしていけるよう、地域で共に支え合うことができるまちづくりが求められていることがわかります。

第3期区民会議では、2つの課題解決策「高齢者向けのウォーキングガイドブックの作成、地域の散策」と「コミュニティバスの導入」に関して、調査・審議を進めました。

※65歳以上人口の割合
川崎区:20.2% 川崎市:17.0% 全国:23.4%

<平成21年度区民アンケート

:最も優先的に取り組み解決する必要があるテーマ>



■ 課題解決策の審議と報告

高齢者向けのウォーキングガイドブックの作成、効果的な活用を提案します

<審議経過>

- モデルコースの選定・視察・検証
- 「ウォーキングガイドブックの作成」を区に提案
- 効果的な活用について審議
- 作成中のウォーキングガイドブックに基づく視察・検証

<まとめ>

- コース選定には、「安全、安心、体力、魅力」といった要素が大切です。
- ガイドブックには、休憩場所やバリアフリーの情報など、あらゆる世代に配慮した視点や地域の情報などを盛り込む必要があります。
- 完成後は、それを活かした散策イベントを実施するなど、多くの人に利用してもらうための工夫が必要です。

コミュニティバスの導入に向けた検討の継続を提案します

<審議経過>

- 地域交通の課題の把握
- 他都市の導入事例の把握
- 区民へのアンケートの実施・分析

<まとめ>

- アンケート結果から、導入に対し高いニーズがあることが確認されました。今後も継続的に検討することが必要です。
- コミュニティバスの導入には、区民が参加し、採算性や運営主体などについて専門的に検討する協議会のような組織が必要です。

第3期区民会議の成果及び区の取組

ウォーキングガイドブックの作成

ウォーキングガイドブックでは、コース上の勾配の有無や程度、交通量や道路上の段差等安全面の情報、トイレ・ベンチ・休憩ポイント等の設置状況を掲載しています。また、地図は初めて訪れた人にも分かりやすいよう作成し、コース上のポイント間の距離を記載しているところが特徴です。

